

## ジャパン・ウィザード優勝者が日本のハイテクノロジーについて学ぶ

今年のジャパン・ウィザード・アカデミック・チームコンペティションの優勝校プナハウスクールの生徒が2008年6月10日に日本の埼玉県にある洪水防止のための施設である首都圏外郭放水路に見学に行きました。この見学は、どのように日本が環境、社会的問題解決にハイテクノロジーを使っているかをみるよい機会となりました。首都圏外郭放水路は、台風の季節の激しい雨水によってひきおこされる首都圏の洪水を調整するための巨大な地下放水路です。この施設は、洪水の危険がひいたあと海に徐々に放水していくよう、毎秒200トンまでの水を江戸川に放水するため巨大なパイプを利用しています。ハワイ日米協会は、ジャパンウィザード優勝者に日本のハイテクノロジーに触れてもらうよう、今年新しい試みとして、今回の見学を手配しました。



プナハウスクールジャパン・ウィザード優勝チーム - Susan Tan、 Kelsey Ig、 Kaitlin Kogachi 及びアドバイザーの Jan Asato が首都圏外郭放水路のガイドから説明を聴く様子



首都圏外郭放水路の職員が事業を説明しながら、生徒達は巨大な地下コンクリート貯水施設を見学しました。

首都圏外郭放水路のような場所への訪問は、ハワイの学生に如何に他の国々や社会がハイテクノロジーを利用して日々の課題に取り組んでいくかをみせてくれます。このプログラムの目的は、ハワイや米国の問題に取り組む方法を探す刺激となることです。ハワイ日米協会の使命は強い日米関係を通じてコミュニティーが繁栄するお手伝いとなることであり、ジャパン・ウィザード・コンペティションの優勝者への報奨としての日本への旅行のように教育、多文化プログラムはこの目的を達成するのに助けとなるよう設計されています。

例年のジャパン・ウィザード・アカデミック・チームコンペティションやハワイ日米協会がスポンサーとなっているその他のプログラムに興味のある学校や生徒達は是非ウェブサイト [www.jashawaii.org](http://www.jashawaii.org) の「Educational Programs」や「Opportunities」をご覧ください。申し込み方法や連絡先詳細などを確認できます。